

令和７・８年度 資格審査申請にあたっての留意点等について

令和７・８年度の競争入札参加資格審査申請にあたっては、以下の点に留意してください。

１ 受付方法及び受付期間

資格審査申請の受付は、原則として郵送による受付とします。
また、持参での提出も可能ですが、対面での審査は行わず受付のみとします。
受付期間については、以下のとおりです。

令和７年１月１４日（火）から 令和７年１月２４日（金）まで
（期間内の消印有効）

２ 各資格共通の変更点等

(1) 前回（令和５・６年度資格審査）からの変更点

- ① 持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成のために、申請書を提出する際は、留め具やクリップ等にプラスチックや金属を使用していない環境に優しい材料を使用してください。（市町村用ファイルは使用可能です。色の指定はありません。）

(2) 注意事項

- ① 受付期間は１回のみです。受付期間前でも受付しますが、その場合の申請書の日付は「令和７年１月１４日」としてください。なお、添付する証明書等の写しの有効期間は申請日前３月以内のものに限ることに留意してください。
- ② 年間委任状は、ファイルには絶対綴じないようにしてください。また、委任できる期間は１年限りですので注意してください。
- ③ 申請にあたっては、対面による確認ができないため、送付票（別添様式）により、連絡先、提出書類の内容をチェックして、記載漏れがないよう注意してください。
- ⑤ 申請書等の様式は、今回の様式にて作成してください。（旧様式では受付しません。）
- ⑥ 資格要件に、「健康保険」「厚生年金保険」「雇用保険」のすべてにおいて加入若しくは適用除外であることが必要です。いずれか一つでも未加入がある場合は、申請を行うことはできません。

なお、審査基準日までに未加入保険に加入した場合については、保険に加入したことが確認できる書類及び直近の保険料領収書の写しを添付することで申請することができます。

また、適用除外に該当する方は、届出義務がないことを証するため、「社会保険等適用除外申出書」の提出が必要です。

- ⑦ 合併等の再審査の申請については、「公社ホームページ／入札情報／申請書・様式に関する情報／合併等の再審査の申請について」を参照してください。

3 建設工事の資格に係る主な変更点等

(1) 前回（令和５・６年度資格審査）からの変更点

- ① 申請書類の作成要領第６の３営業所一覧表は、本店の所在地が記載している建設業許可申請書様式第一号別紙二（２）の写しを提出してください。

(2) 注意事項

- ① 営業所一覧表は、建設業許可申請時に提出した様式の写し等を提出してください。
- ② 資本金は、登記簿と付票では単位が異なるので注意して記載してください。

4 設計等の資格に係る主な変更点等

(1) 前回（令和５・６年度資格審査）からの変更点

- ① 前回（令和５・６年度）の資格を有している場合は、資格要件「１年以上（前から）その事業を営んでいること」の契約書等の写しは必要ありません。

(2) 注意事項

- ① 資格要件「直前１年間に、その事業に係る売上高を有していること」を確認するため、契約書等の写しを提出していただきますが、それぞれの期間において、契約を履行したものがが必要です。
- ② 建築設計及び建築工事監理の資格要件については、建築設計又は建築工事監理の売上高を有していることとしています。

5 農業用機械等の購入・賃貸借の資格に係る主な変更点等

(1) 前回（令和５・６年度資格審査）からの変更点

農業用機械等の購入・賃貸借に係る前回（令和５・６年度資格審査）からの変更点はありません。

(2) 注意事項

- ① 申請書の「農業用機械等の購入」及び「農業用機械等の賃貸借」の希望される資格の欄には必ず○印を記入してください。
- ② 家畜管理用機械及び牧場用機械等取扱い一覧（別記第７号様式）は、指名選考の大事な指標となるので、記載漏れのないようにしてください。また、過去２年間の販売実績のみ記入してください。なお、取扱いのある機器ごとの契約書の写しの添付は必要ありません。

2024年 10月1日(火)から 郵便料金が変わりました。

今後とも、郵便サービスの安定的な提供を維持していくため、郵便料金を変更させていただきました。
お客さまにおかれましては、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

	9/30まで(旧料金)	10/1以降(新料金)
定形郵便物 	25gまで 84円 50gまで 94円	50gまで 110円 重量区分を統合しました
通常はがき 	63円	85円
レターパック 	プラス 520円 ライト 370円	600円 430円

旧料額の通常はがき・レターパック封筒は、新料金との差額分の郵便切手を貼付いただくことで、2024年10月1日以降も引き続きご利用いただけます。
差額分の郵便切手は、下図のイメージを参考に貼付してください。

※ レターパック封筒には、「この線より上は消印に使用しますので、何も書いたりはったりしないでください。」との注意書きがありますが、郵便切手を貼付いただく分には問題ありません。

詳しくは、日本郵便のホームページをご覧ください

手紙・はがき

- 手紙・はがきトップ
- ▼ 定形・定形外郵便物
 - 定形・定形外郵便物のサイズ・重さ
 - 定形・定形外郵便物の料金
 - 主なオプションサービス
- ▼ はがき
 - はがきの種類
 - はがきのサイズ・重さ
 - はがきの料金・主なオプションサービス
- 第三種郵便物、第四種郵便物
- ▼ 商品・サービス
 - 手紙・はがき
 - ゆうパック
 - レターパック
 - クリックポスト
 - ゆうパケット
 - ゆうメール
 - 国際郵便
 - 切手
 - 書留
 - 速達